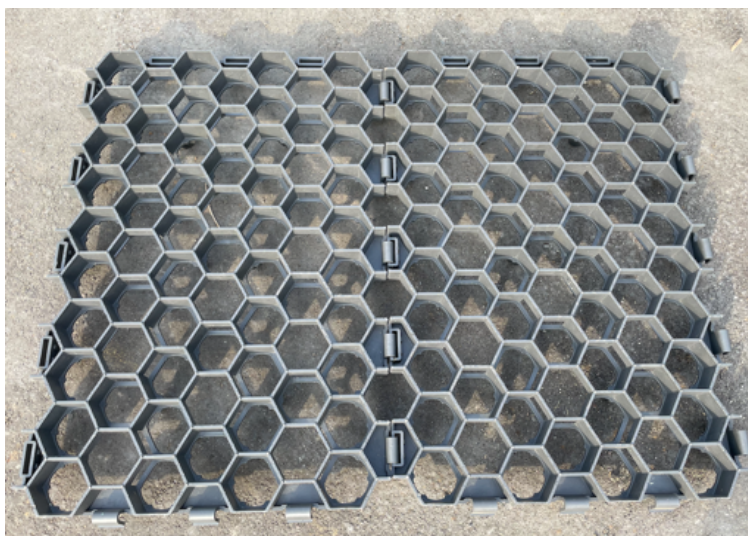


この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。



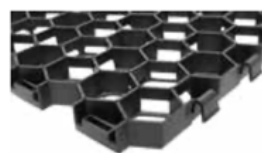
■ 使用用途

都市部の緑化・遊歩道・住宅庭・歩行道路・公園・放牧場・乗馬エリア・ゴルフ場の通路や
カート道・キャンプ場など

■ 仕様

原 材 料	リサイクル高密度ポリエチレン (HDPE)
生 産 国	オランダ (製造工場はチェコ:ISO9001、14001)
カ ラ ー	グレー色
本 体 寸 法	560mmx380mmx32mm (突起物含む高さ51mm)
本 体 重 量	1枚辺り=0.9kg / 1㎡辺り=4.1kg
数 量 / ㎡	4.5枚/㎡
耐 荷 重	約170t/㎡ (芝を含んでいない状態)
紫 外 線	UVコーティング
緑 化 率	86.3%

緑化率の適用については市町村により見解が異なります。
監督窓口でご相談ください。



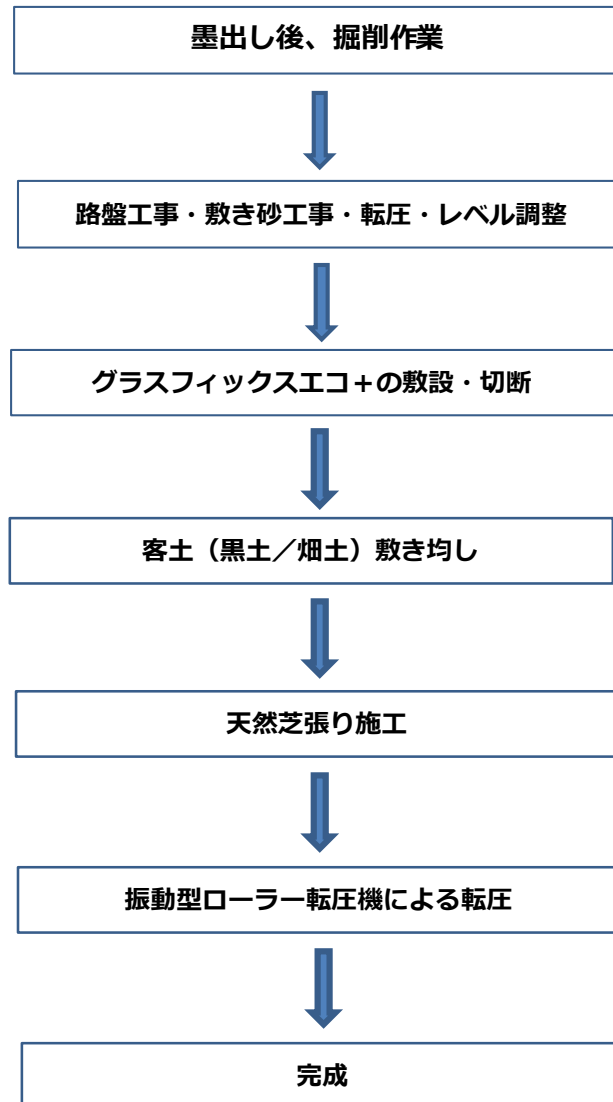
駐車場でも利用可能

UVコーティング

■ 保管方法

直射日光の当たる場所での保管は避け、屋内に保管してください。
また、歪み防止のため、横積みで保管し、縦積みは避けてください。

施工手順フロー

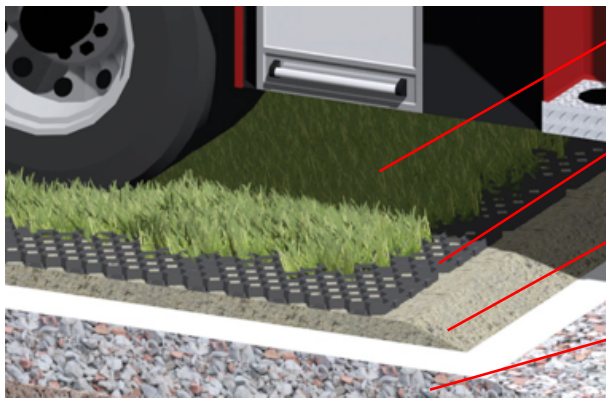


① 下地の施工について

下地の施工は、インターロッキングと同様の下地が必要です。

特に駐車場など、重量物が通る場所での施工においては、路盤工事、敷き砂工事を行ってください。

■ 標準施工断面図（車両乗り入れの場合の図面）



天然芝（現地調達）

※高麗芝推奨

グラスフィックス eco+（32m）

敷き砂（20mm程度）

路盤：碎石（200～250mm）

※クラッシャーランC40などを使用



車の乗り入れも
可能です。



歩行や移動時の
安全性を保ちます。



太陽光発電やバイオマス電力を
使用して製造されています。

① 路床工事

掘削後、路床の不陸等、不良個所を整地します。

② 路盤工事

碎石（クラッシャーランC40等）を厚み200～250mmを入れ、不陸を調整し、転圧機で固めてください。

※施工地域、状況によって、碎石の種類、深さは調整してください。

③ 敷き砂工事

碎石で固めた路盤に厚み20mm程度に砂を敷いて、トンボなどを使用して砂を均し、不陸を調整して

転圧機で固め、レベル調整して下地を完成させてください。

② 下地の施工について

例) 見切り材設置



例) 転圧、レベル調整



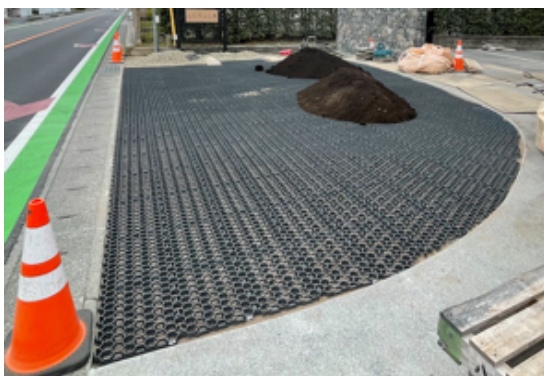
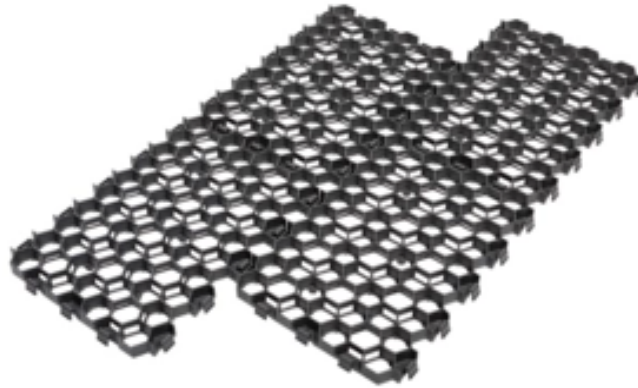
例) 下地完成



③グラスフィックスエコ+の施工について

①下地施工が完了後、グラスフィックスエコ+を敷き詰めます。

グラスフィックスエコ+はジョイント部分のオス・メスを嵌めて敷設していきます。



②グラスフィックスエコ+にトラックが載っても潰れません。

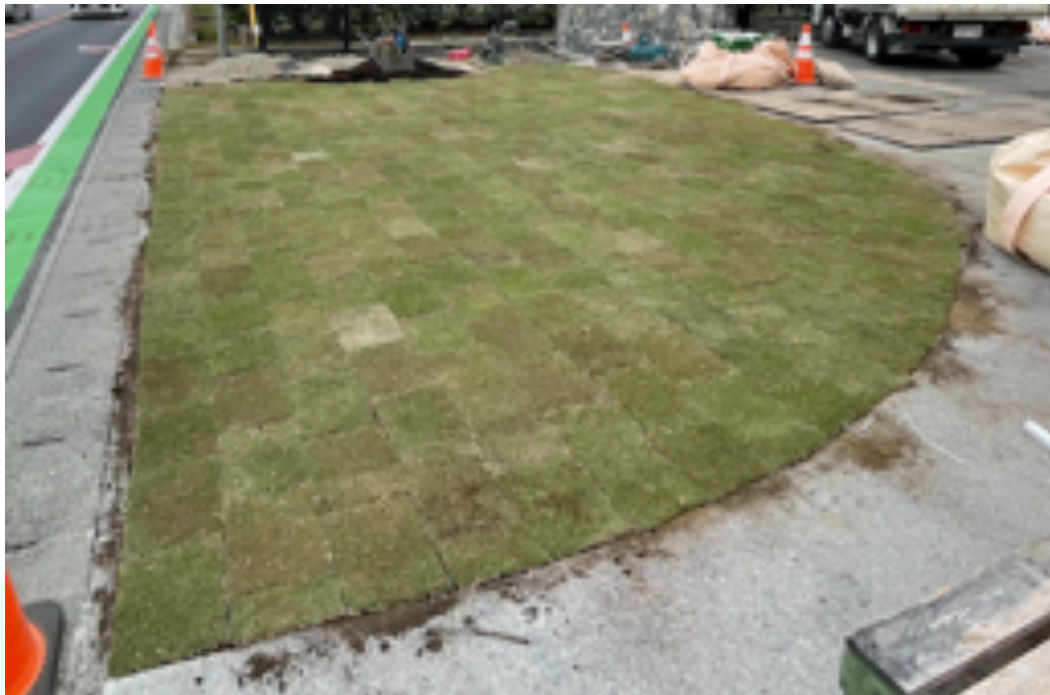
鋸（のこぎり）でカットできますので、曲線、障害物がある場合は、鋸でカットしてください。

④客土の敷き均し～芝生の敷き詰めについて

③グラスフィックスエコ+に客土を敷き詰めていきます。客土は黒土や畑土を使用してください。



④客土を入れた後、トンボ等を使って、均一になるように表面を馴らしてください。
客土はグラスフィックスエコ+のハニカム構造が見えなくなるまで敷き詰めます。



⑤ロール芝もしくは、カット芝を隙間なく敷き詰めていきます。芝生敷設後、発芽の促進と不陸修正のため目土・灌水をしてください。

※グラスフィックスエコ+に使用する芝生は高麗芝を推奨しております。

※天然芝は種植えでの施工も可能です。

⑤芝生の転圧について（カット・ローラー芝使用の場合）

⑤芝生の敷設後、**振動型ローラー転圧機（1t以上）**を使って、芝生を転圧してください。



⑥転圧をして芝生にグラスフィックスエコ+の跡が見えれば完成です。